



岸 高明の市議会だより

岸 高明の会 事務所 茅ヶ崎市新栄町7 - 1岸ビル6F
ホームページ <http://homepage3.nifty.com/takaaki-kishi/>

湘南市研究会は解散

市会議員の選挙において高い関心がありました湘南市研究会は正式に解散いたしました。経済情勢が苦しい中、これからは着実に茅ヶ崎市の足元を固め、これからの少子・高齢化の時代に立ち向かうこととなります。今後は周辺自治体との広域行政の強化を視野に入れると共に、藤沢・寒川・茅ヶ崎という2市1町での合併も論議の余地があります。

都市計画と財政 北海道行政視察 7月

親しい人などには、「旅行に行くのかイイな」などと羨ましがられますが、けっして議員の親睦旅行ではありません。真面目な議員としての仕事です。百聞は一見にしかず。自分の目で見、担当者と直接話し、茅ヶ崎市の今後の参考にするために遠く北海道まで足を運ぶのです。今回は議員となり初めての会派の行政視察です。今回の行政視察は議員だけで議会事務局の職員は同行しません。自分達でカバンを引きずり、地図で目的の市役所を探し歩きます。

今回視察に訪れたのは、札幌市近くの北広島市、江別市、余市町。北広島市と江別市はどちらも札幌の衛星都市、ベッドタウンだが、異なる顔をした両市です。都市計画・再開発、公共施設を上手く国県から誘致できたかどうか、いかなる公共施設を作ったか、などというのが影響しているようだ。例えば北広島市では貴族にでもなった気分が聴ける音楽ホールと最新の図書館があり、駅通



路にもガラス天井が開閉するイベント広場がある。だから北広島市に若い人が集まる、かもしれない。江別市には、総合病院があるので、お年よりが気に入るかもしれない。ひとつふたつの個所を見ただけで、全てを知ったように判断するのは危険であるが、興味が湧くのである。今回視察した2市1町とも程度の差こそあれ財政が苦しい。茅ヶ崎市は貧乏であるというが、比較対照にならないほど豊かである。江別市を例にとると、札幌市の衛星都市として、急速に都市化が進み人口が増加してきたが近年は鈍り平成15年は約12万人であるが、前年の人口を割っている。平成15年度一般会計予算の408億円の歳入に占める市税の割合は27.4%

地方交付税25.2%である。約四分の一しか自前の税金が無い。県や国の補助があって市の予算が成り立っている。今後の一層の人口減少と市税・地方交付税の落ち込みが予想される中、財政担当者は、市民のためにいかに財政を守ってゆくのか取組む姿勢は切実である。茅ヶ崎市の将来の姿かもしれないのである。ちなみに茅ヶ崎市の市税割合は58.8%である。

茅ヶ崎市市民参加推進のための基本方針作成中

市で行う各種計画の策定や事業実施にあたり、計画当初より市民活動推進と策定過程を通じた市民と行政の合意形成による円滑な事業実施に努めるために、茅ヶ崎市市民参加推進のための基本方針を策定中です。

一票 今年の春の統一地方選挙で市議会議員となり、もう、3ヶ月が過ぎました。想像していた以上に市会議員としての毎日は忙しく、選挙での日々がずいぶん遠い昔のように感じられます。議場の場でも、新人議員であってもベテラン議員であってもひとり一票であることには変わりありません。託された市民の気持ちをランドマークとして頑張っています。

臨時会

市議会議員選挙後早々の5月には臨時議会が開かれ、岸高明は総務常任委員と議会運営委員となりました。

平成15年第2回定例会から

6月には最初の市議会定例会が開かれ、岸高明は一番手として先達の思いを心静かに留め置き、選挙中に訴えたこと、身近に起きた深刻な問題を一般質問で取上げました。

ひとり質問30分の持ち時間の一部を抜粋します。全文は市役所やインターネットでも閲覧できます。



出生率低下、どうする少子化対策

岸高明議員 国では、新エンゼルプラン、待機児童ゼロ作戦など子育て支援を行ってきたが少子化に歯止めがかからない。自治体、企業、地域の力を活用するための法案が審議中であるが、本市としての対応について伺う。

市長 次世代育成支援対策推進法と児童福祉法の一部改正の法案が成立すると

今年度中にニーズ調査を実施し、来年度、行動計画策定協議会を設置し平成17年度から5年間を計画期間とする市町村行動計画の策定に取り組む考えである。

問 次世代育成支援対策推進法の地域協議会は立上げる予定か。

少子高齢部長 当面、公共団体の行動計画の策定を進め、その中で十分検討する。

地震発生時の市職員の招集時間は

問 阪神淡路大震災から8年。茅ヶ崎でも東海地震、神奈川西部地震など発生する可能性がある。5月26日に東北地方で震度6の地震があり教訓を残した。市の災害対策本部を立ち上げる為に、休日等の時間外における職員を召集するのに要する想定時間を伺いたい。

市長・防災管理部長

平常時の管理職召集訓練では、最長でも1時間以内です。職員の被災を考えると、参集可能な全職員が登庁するには、相当時間を要するものと思われる。消防と病院を除く市内在住の職員約690人及び市境周辺に在住する職員の数を考えると、災害後1時間以内に相当の職員が参集可能と思われる。

問 広域避難場所と避難所の違いを市民が理解しているか。

市長 アンケートではそれらの場所を77.8%の人が知っているとの回答である。しかし、広域避難場所と避難所の違いを知っているかとは調査していない。

いつまで続く浸水被害

問 5月31日の台風4号くずれの温帯性の大雨で本市いたる所で道路の冠水、住宅の浸水被害を受けた。本村5丁目の一部区域などは以前から浸水を繰り返すが対策の見通しはいかがか。

市長 時間降雨量50mmに対応する雨水排水施設の整備を実施している。今回のような豪雨は数十年に1回であり、緊急的な措置として職員を動員し、ポンプによる強制排水や土のうによる浸水防止や避難場所の確保や誘導などの応急処置として対応せざるを得ない。本村5丁目の一部区域には、緊急的に護岸の上にコンクリートの壁を至急に改良し、強制排水施設などの設置について検討をしたい。

問 水田が宅地造成され、遊水地機能が低下し豪雨に弱くなっているが本市の法的対応を伺う。

下水道部長 開発事業指導要綱で、1ヘクタール当たり400トンの雨水貯留や浸透施設の設置を指導している。これにより、年間平均約2500トンの貯留や浸透施設の設置が実施されている。もう一点は、近隣では茅ヶ崎市だけの制度だが、農地、主に水田の保全に補助制度を設けている。平成15年度、約18000平方メートル、約8750トンの水の貯留をお願いしている

松浪中学の建替の陳情について

現在茅ヶ崎市の学校校舎には地震に対し十分な強度がないものがあります。限られた予算の範囲で子供の安全を守るという判断から、22校の53棟について5年を目安に全ての学校の耐震補強を施す事を優先し、この陳情は継続といたしました。

問 梅田中学の北側で千の川の川幅が狭いがいかがか。

下水道部長 川幅を拡幅するために、管理する神奈川県が隣地の製紙工場と用地買収について折衝交渉中である。



千の川が製紙工場の側で狭い

リサイクルプラザ建設凍結

ちがさきさわやかプラン（茅ヶ崎市新総合計画後期基本計画）で平成15年度・16年度に実施計画されていた、包装に係わる分別収集及び再商品化促進等に関する法律に対応した資源化再生処理施設や普及・啓発の施設であるリサイクルプラザの建設計画は凍結されました。

理由は今後の市の財政状況から、他の優先すべき事業、特に子供達の安全に対する配慮を最優先に行うとの市長の判断からです。



資源ごみ回収センターとなりの建設予定地

J R東海道以北も、建物の高さを 15メートルまでに制限

J R東海道線以南では昭和63年から第一種および第二種中高層住居専用地域における建物の高さを15メートルに制限していますが、J R東海道線以北でも同様に平成16年7月8月頃をめぐり、高度地区の施行を予定しています。高度地区の指定ではありませんが、すでに、第一種及び第二種住居低層住居専用地域も10メートルの高さと定められています。ただし、住居専用地域近傍でも広い道路の両側などは第一種および第二種中高層住居専用地域では無く、高さ制限を受けずに建築できる個所があります。また、準工業地域や工業地域の工場が撤退した跡地にマンションが建築されるケースなどについては今後の検討課題と考えます。

セイミケミカルの土壌汚染

茅ヶ崎市茅ヶ崎の市民活動サポートセンター近くのセイミケミカル(株)が敷地内の土壌と地下水の調査をしたところ、砒素などの有害物質で汚染されていることが判明しました。現在のところ市が調査した近隣の井戸水・河川の水質と底質調査では安全という結果でした。今後も調査地域を広げ安全を期すとの事です。

会社は本年2月より施行の土壌汚染対策法に基づき、昨年12月に地下水サンプル採取、1月に分析結果を調査機関より入手後、原因究明の調査と井戸の安定化などを行いながら、土壌調査と2回目の地下水分析調査を行い、市に最初の調査結果から報告するまでに約5ヶ月間を要しています。また、本年4月より特例市に移行し水質汚濁防止などの事務を市が担うことになり、県から助言を聞くなかで対応に時間がかかったとして、市が市民に発表するまで1ヶ月間たっています。市内には他にも工場があり同様の調査を行っているものと思います。常に危機管理という点から、生命と健康を最優

先するために、適切な情報提供を早期に行い、まず安全を確保した状態で、恒久的な調査と対応を行い、恒久安全対策が施されたら速やかに結果を市民に報告する。今回の処置が万全だったのか検討し、今後、行政が会社に指導する内容にも十分注意を払うこととなります。

アロハ本会議で TV・新聞

6月30日の本会議の最終日は、商工会議所の呼びかけに応じ、議員はじめ市長、職員全員がアロハシャツで本会議を行いました。数日前から議員達も、ネクタイ姿なら困らないが、アロハシャツとなると勝手が違い大騒ぎでした。仲良く議員同士で店に行き相談しアロハシャツを購入した者もいたようです。私が買った小売店では、こんな年恰好の議員が買いに来たとか、誰々議員が来たという話を聞き、他の議員に負けぬように派手で目立つアロハシャツを選びました。こんな事で勝っても仕方がないのですが。

本会議当日は、朝から新聞社・TV局が取材に入っています。たいがいの議員達は

選挙が終わったばかりから、カメラを向けられると、直ぐに笑顔が作れません。恐るべし、タレント根性。私はカメラを



向けられると、引きつった笑い顔で薄気味悪くなります。議員バッジをアロハシャツに着用していたところをTV局に撮影され放送を期待するが、夜のニュースで自分の姿が放送されなくガッカリ。翌朝の新聞で遠くの方に米粒位にしか写ってはず、またガッカリ。

南国情緒あふれる本会議と裏腹に、緊急質問が私の所属する議会運営委員に諮られ、一日がスタートしたのだった。